

岩手県感染症週報

平成17年第2週（1月10日～1月16日）

岩手県結核・感染症情報センター

第2週の概要

1類感染症

4類感染症

2類感染症

5類感染症（全数把握対象疾患）

3類感染症

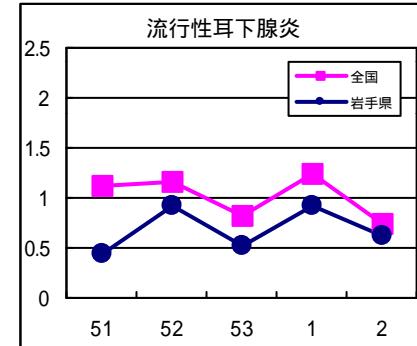
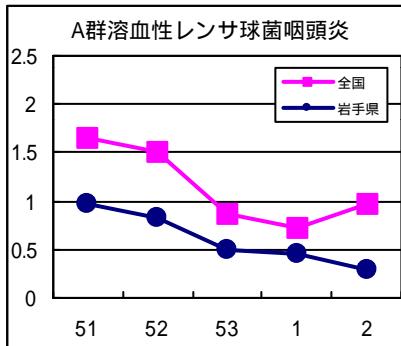
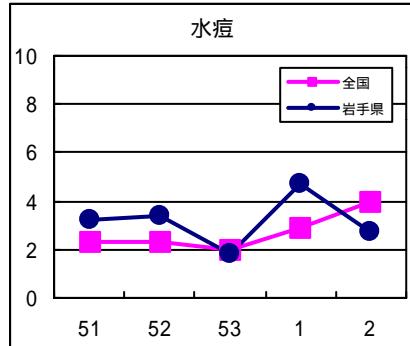
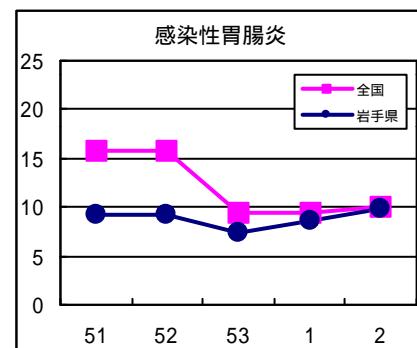
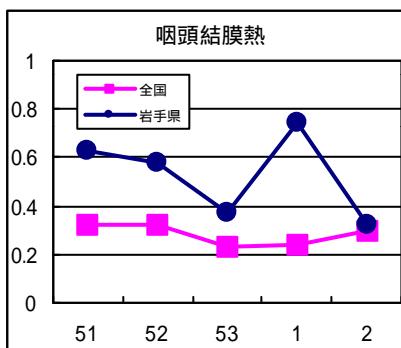
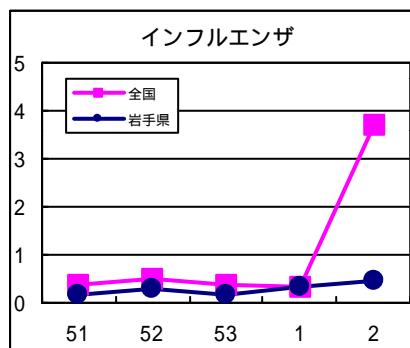
・患者発生の報告はありませんでした。

5類感染症（定点把握対象疾患）

- ・感染性胃腸炎は、これまで比較的患者数が少なかった水沢、一関、大船渡、釜石、宮古、久慈、二戸地区で増加しました。特に釜石地区は定点当たり患者数20.3人となり、警報値（同患者数20.0人）を超えるました。ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団感染が全国的に問題となっています。ノロウイルスが原因の場合に限らず、感染性胃腸炎の予防には、外出から帰った時、トイレの後、調理の前、食事の前の手洗いの徹底が重要です。
- ・インフルエンザは各地で患者が報告されており、前週より増加しました。例年、小中学校および高校で3学期が始まった後に患者が急増しており、今後流行シーズンに向かうことが予想されます。
- ・流行性耳下腺炎は、依然として北上地区で患者が多い状態が続いています。
- ・水痘は各地で患者数が減少しましたが、北上および釜石地区は患者が多い状態が続いているので注意が必要です。
- ・咽頭結膜熱は、前週患者が多かった釜石地区で減少し、この週には6週ぶりに定点当たり患者数が警報値（同患者数1.0人）を超える地区が無くなりました。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向
		51	52	53	1	2	
インフルエンザ	岩手県	0.15	0.29	0.18	0.35	0.44	↗
	全国	0.36	0.52	0.38	0.35	3.72	↓
咽頭結膜熱	岩手県	0.63	0.58	0.37	0.74	0.32	↘
	全国	0.32	0.32	0.23	0.24	0.3	↓
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.97	0.82	0.5	0.45	0.29	↘
	全国	1.65	1.5	0.87	0.72	0.98	↑
感染性胃腸炎	岩手県	9.13	9.26	7.45	8.55	9.84	↗
	全国	15.74	15.83	9.37	9.41	10.08	↑
水痘	岩手県	3.24	3.42	1.82	4.74	2.74	↘
	全国	2.33	2.34	2	2.9	4	↑
手足口病	岩手県	0.13	0.03	0.03	0.24	0.05	→
	全国	0.65	0.5	0.26	0.18	0.07	↑
伝染性紅斑	岩手県	0.34	0.26	0.13	0.29	0.26	→
	全国	0.23	0.22	0.14	0.18	0.38	↑
突発性発疹	岩手県	0.37	0.71	0.39	0.5	0.42	→
	全国	0.67	0.62	0.43	0.52	0.72	↑
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	↑
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0.01	0	0	0.01	↑
ヘルパンギーナ	岩手県	0.21	0.29	0.29	0.11	0.18	→
	全国	0.06	0.05	0.03	0.03	0.03	↑
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0.01	0	0	0.01	↑
流行性耳下腺炎	岩手県	0.45	0.92	0.53	0.92	0.61	→
	全国	1.13	1.17	0.82	1.24	0.73	↑
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.02	0.03	0.01	0.03	0.03	↑
流行性角結膜炎	岩手県	1.67	1.08	1.25	0.5	0.83	→
	全国	0.7	0.71	0.41	0.7	1.21	↑
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	2	0	0	0	1	→
	全国	921	780	486	0	0	↑
細菌性髄膜炎	岩手県	0.05	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	↑
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.03	0.03	0.02	0.02	↑
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.25	0.3	0	0.1	0.05	→
	全国	0.38	0.37	0.16	0.2	0.29	↑
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0	0.01	↑
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0	0	0	0	↑

【流行傾向の見方】

無印 : ほとんど患者が発生していません

: 患者が発生しています

: 警報値を超えた地区が1～2地区あります

: 多くの地区で警報値を超えてています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）							(患者発生数)			
分類	疾病名	岩手県						全国		
		(週)	51	52	53	1	2	累計	2	累計
一 類 感 染 症	エボラ出血熱		0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱		0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト		0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病		0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱		0	0	0	0	0	0	0	0
二 類 感 染 症	コレラ		0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢		1	0	0	0	0	0	12	19
	腸チフス		0	0	0	0	0	0	1	1
	パラチフス		0	0	0	0	0	0	0	0
	急性灰白髄炎		0	0	0	0	0	0	0	0
三 類	ジフテリア		0	0	0	0	0	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症		1	0	0	0	0	0	3	9
	アメーバ赤痢		0	0	0	0	0	0	7	8
	エキノコックス症		0	0	0	0	0	0	0	0
	黄熱		0	0	0	0	0	0	0	0
四、 五 類 感 染 症	オウム病		0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱		0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウィルス性肝炎		1	0	0	0	0	0	3	3
	Q熱		0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病		0	0	0	0	0	0	0	0
四、 五 類 感 染 症	クリプトスピリジウム症		0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病		0	0	0	0	0	0	2	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		0	0	0	0	0	0	0	1
	後天性免疫不全症候群		0	0	0	0	0	0	7	10
	コクシジョイデス症		0	0	0	0	0	0	0	0
四、 五 類 感 染 症	ジアルジア症		0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱		0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎		0	0	0	0	0	0	0	0
	先天性風疹症候群		0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽		0	0	0	0	0	0	0	0
四、 五 類 感 染 症	ツツガムシ病		0	0	0	0	0	0	18	19
	デング熱		0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱		0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎		0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ボツリヌス症		0	0	0	0	0	0	0	0
四、 五 類 感 染 症	梅毒		0	0	0	0	0	0	5	6
	破傷風		0	0	0	0	0	0	1	1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		0	0	0	0	0	0	0	1
	ハンタウイルス肺症候群		0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病		0	0	0	0	0	0	0	0
四、 五 類 感 染 症	ブルセラ症		0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス		0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア		0	0	0	0	0	0	1	2
	ライム病		0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症		0	0	0	0	0	0	3	4
四、 五 類 感 染 症	ウエストナイル熱		0	0	0	0	0	0	0	0

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されました。本週報では当面の間、改正前の分類による情報を届けしております。

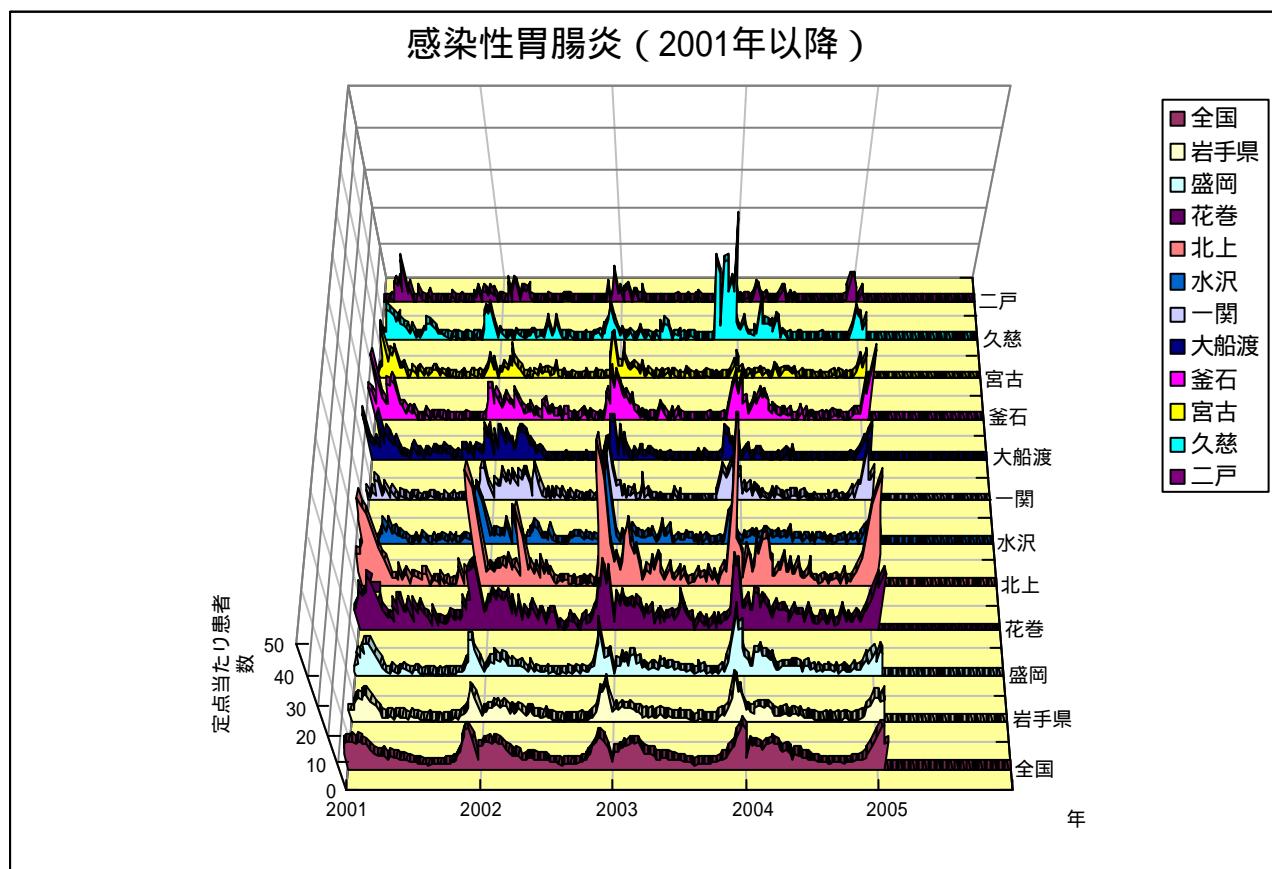
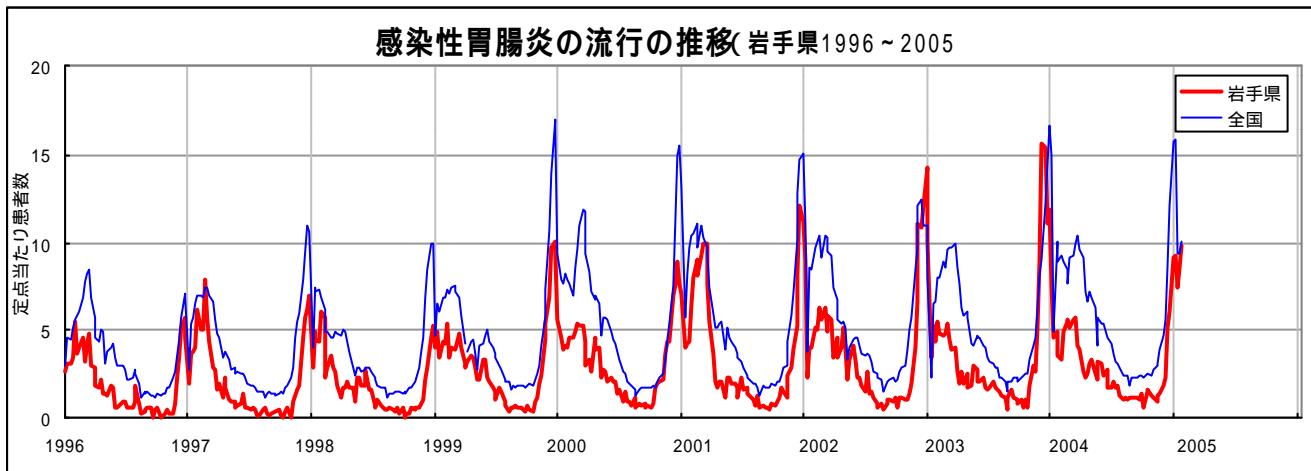
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報を届けするよう準備していますので、ご了承ください。

今注目の感染症

ノロウイルスによる感染性胃腸炎

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、全国的にノロウイルスによる集団感染事例が問題となっていますが、感染症発生動向調査によると、今冬の患者発生状況はほぼ例年並みとなっています。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、症状が消失した後もウイルスが3～7日間ほど患者の便中に排出されるため、特に二次感染に注意が必要です。また、患者の吐物にも多量のウイルスが含まれているので、二次感染を防ぐため、汚物の処理時には100倍程度に薄めた塩素系漂白剤で消毒するなどの処置が必要であり、感染の防止にはなによりも十分な手洗いが大切です。



病原体検出情報

この週に検出された病原体はありません。

集団感染情報

児童福祉施設における「感染性胃腸炎」の集団発生について

1 発生状況等

1月16日（日）、一関保健所管内の児童福祉施設（入所者数60名、職員数31名）の入所者で嘔吐・下痢を訴える者が複数名出ており、医療機関を受診した旨、一関保健所に情報提供があった。保健所が調査したところ、1月11日から17日までに施設の入所者12名（うち入院1名）に症状（嘔吐、下痢等）が認められた。入院患者1名はすでに退院し、その他の患者も、ほぼ回復している。

2 原因究明等の調査

環境保健研究センターで実施した病原体検査の結果、患者8名の便からノロウイルスが検出され、岩手県では本事例を「ノロウイルス」による「感染性胃腸炎」の集団発生と断定した。なお、保健所では同施設に対し、消毒、手洗いの徹底等の二次感染予防対策について指導した。

医療機関からの情報

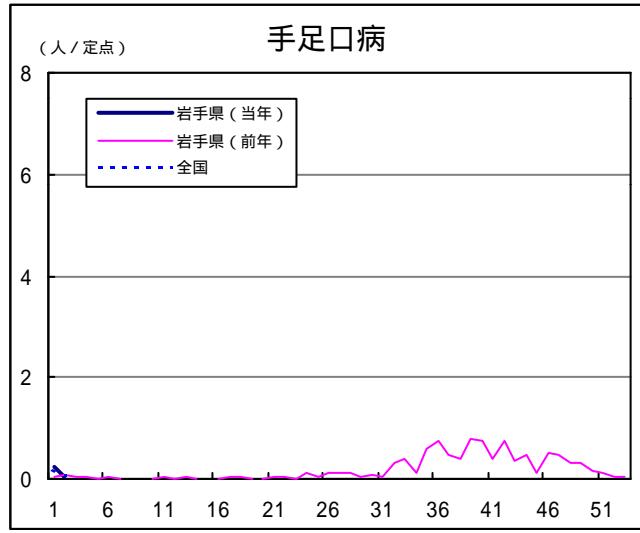
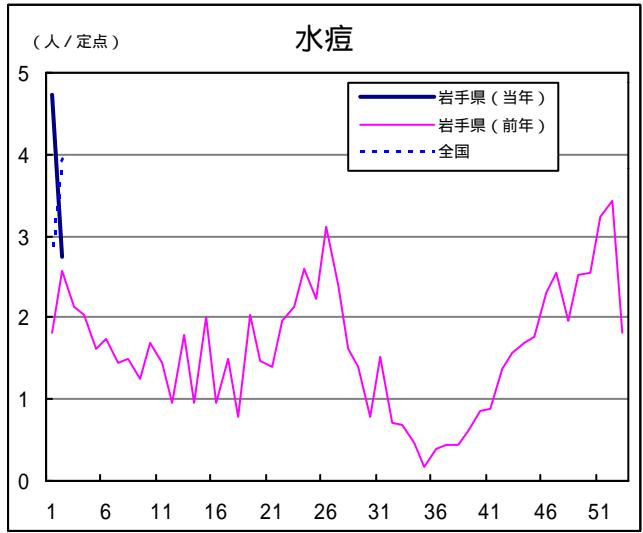
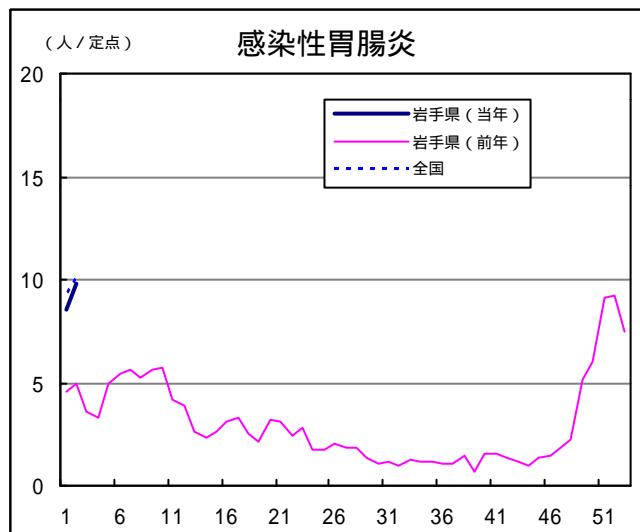
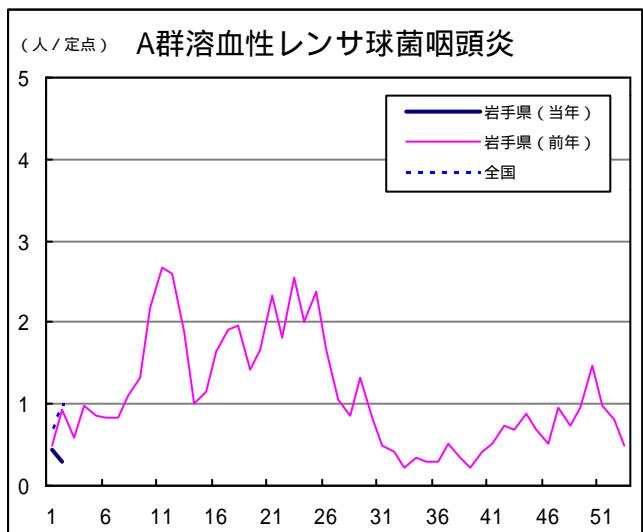
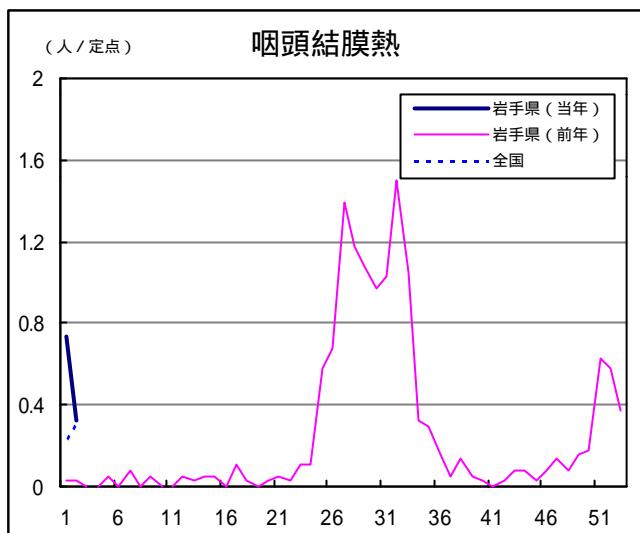
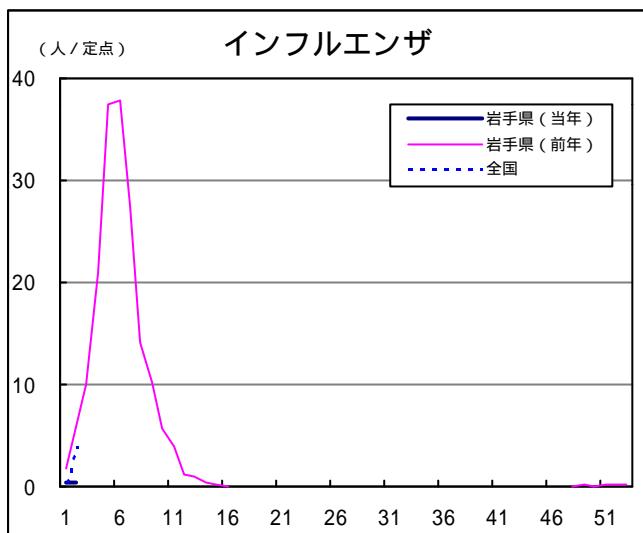
盛岡の医療機関から、「昨年末は吐気、嘔吐を主とする胃腸炎が多くったが、1月に入り、下痢症状が強い感染性胃腸炎が増えている。」との情報が寄せられました。

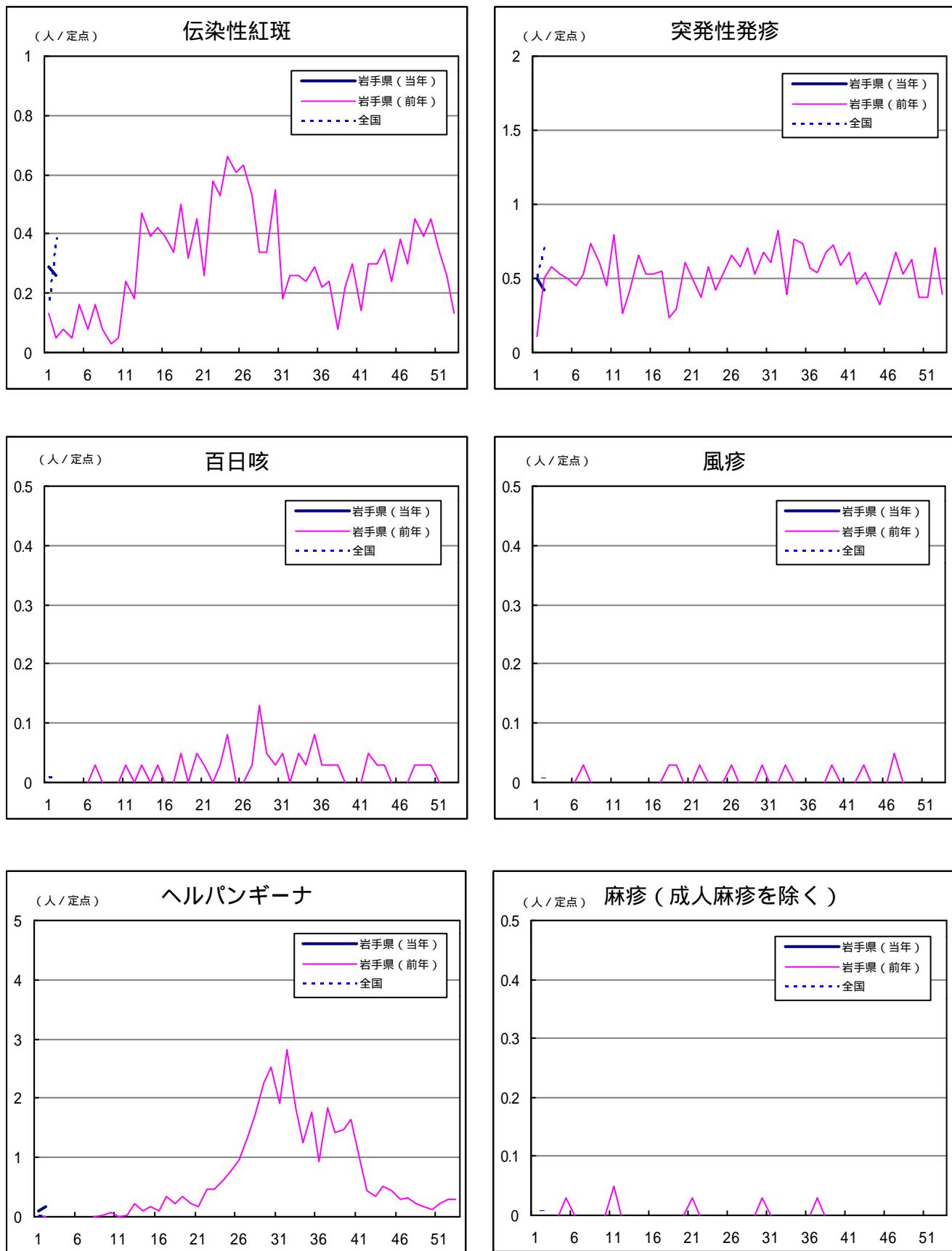
Q & A

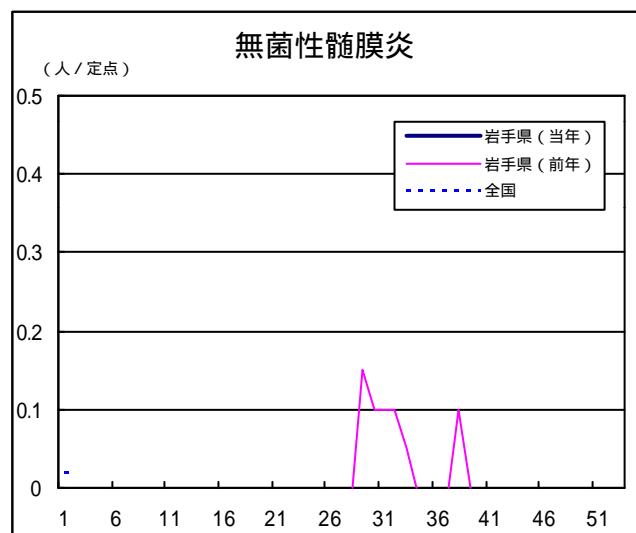
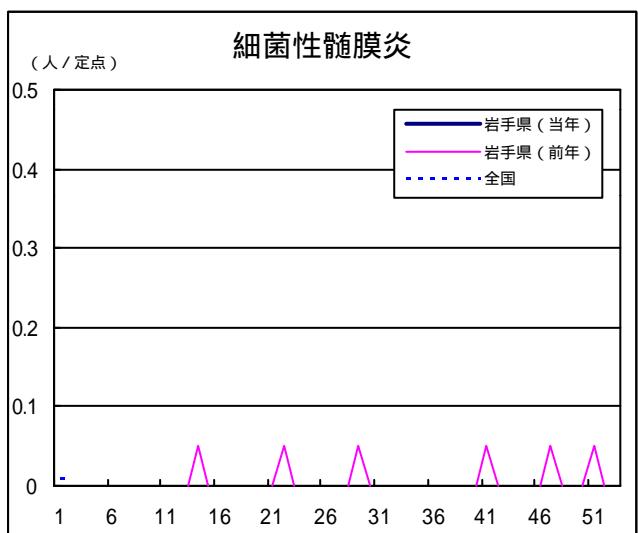
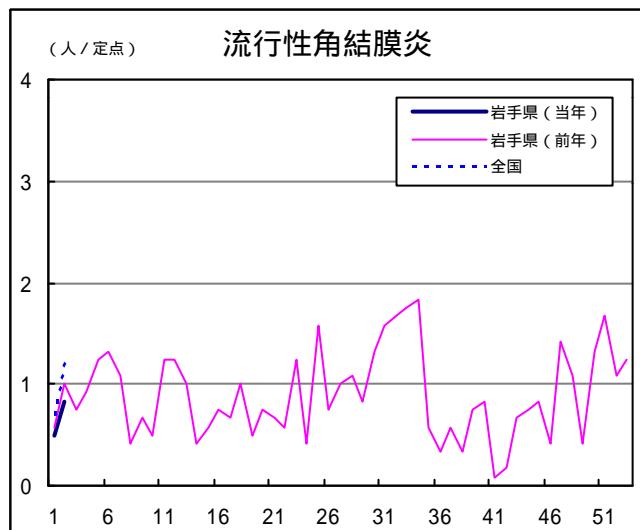
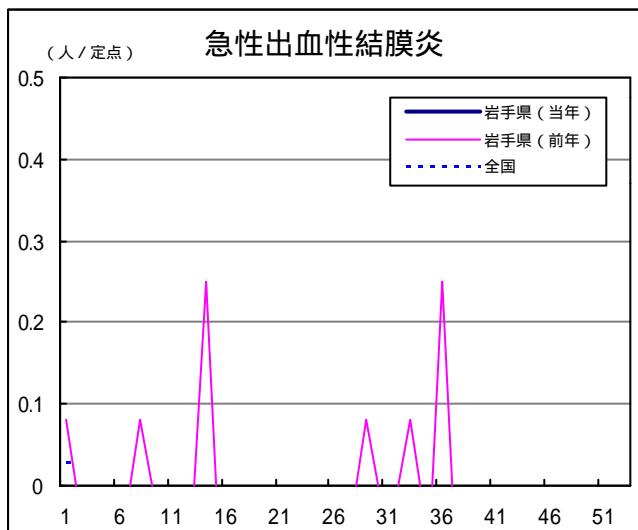
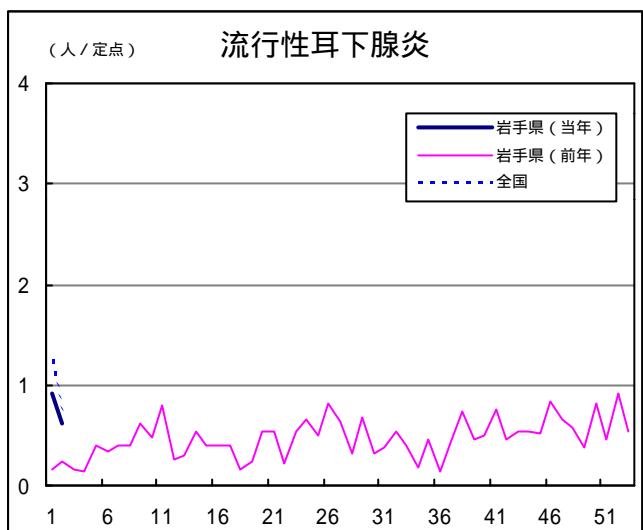
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

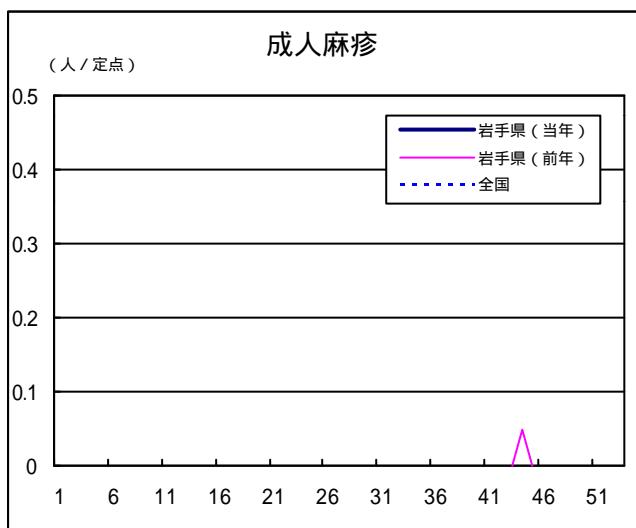
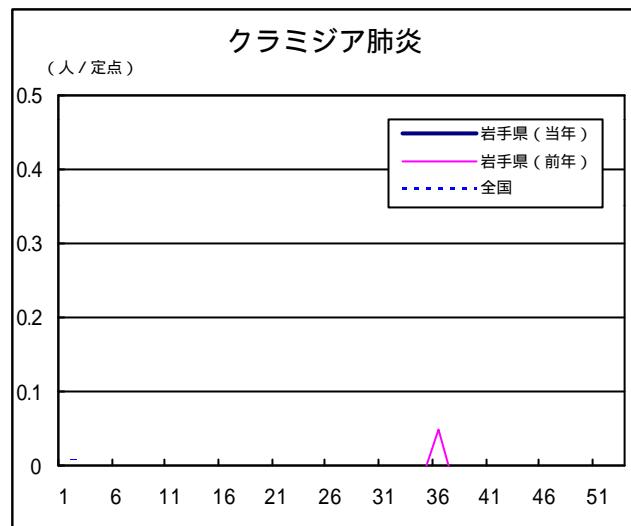
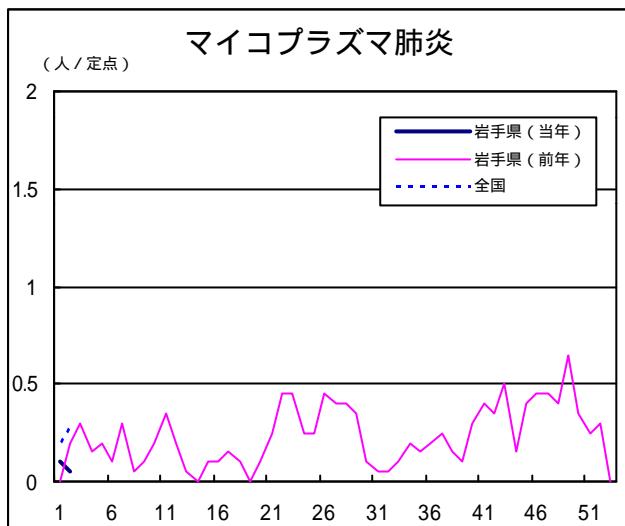
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区 \ 定点種別	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成17年第2週 平成17年1月21日発行

監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部保健衛生課

事務局：岩手県結核・感染症情報センター

(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667

E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

URL : <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県結核・感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>

<岩手県保健福祉部保健衛生課>